

時間75ミリの降雨まで浸水被害防止

流下施設
時間50ミリ

貯留施設
時間15ミリ

流域対策
時間10ミリ

担当：練馬区土木部計画課総合治水係
 電話：03-5984-2074
 Mail：D-KEIKAKU05@city.nerima.tokyo.jp

練馬区総合治水計画（改定）概要版

練馬区は、平成23年度に改定した「練馬区総合治水計画」において、雨水の流出による河川や下水道への負担を軽減する「流域対策」に取り組み、令和3年度までの目標として、55.5万 m^3 の雨水貯留浸透施設の整備を進めてきました。

この度、練馬区総合治水計画を改定し、近年、大型化する台風や局所的集中豪雨に備えるため、「流域別豪雨対策計画（改定）」に基づき、新たな流域対策の**目標年次を令和19年度に設定**し、これまでの流域対策と合わせて、**72.5万 m^3 （時間10ミリ降雨相当）を目標対策量**として設定します。

東京都が実施する河川・下水道の整備と連携して、時間75ミリ降雨に対応できる流域対策を進めていきます。

総合治水計画の目標

- ・時間75ミリの降雨までは、浸水被害を防止することを目指します。
- ・目標を超える降雨に対しても、生命の安全を確保することを目指します。

総合治水計画改定の要旨

1. 河川・下水道の整備促進を都に要請
2. 流域対策の新たな目標年次と目標対策量を設定
3. 雨水貯留浸透施設の適切な維持により施設の長寿命化
4. 確実な避難に向けた取組



練馬区総合治水計画の取組

1) 河川・下水道整備促進の要請

- 流域全体で時間75ミリの降雨に対応できる施設整備を都に要請していきます。



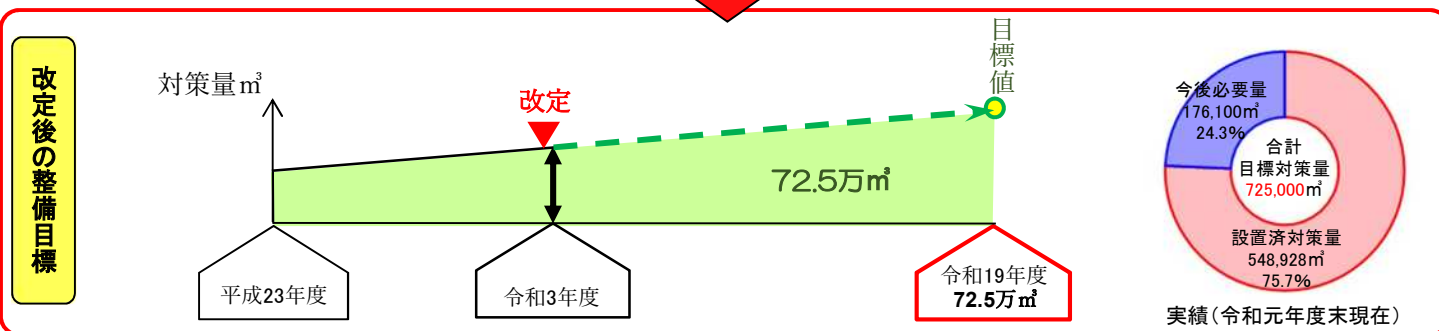
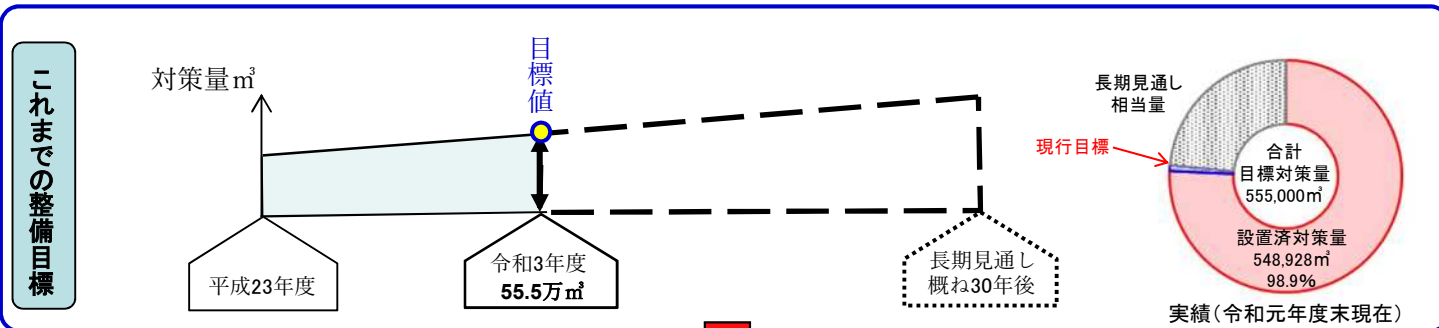
河川改修
(石神井川 松之木橋付近)

環状七号線地下広域調節池
(石神井川区間事業中)

2) 流域対策の整備目標

令和19年度末*までに**72.5万㎡** (時間10ミリ降雨相当) の雨水流出抑制対策を目指します

※平成19年度に策定された東京都豪雨対策基本方針により概ね30年後として設定された目標年度です



目標対策量

流域	(現計画)目標対策量(㎡) 令和3年度末	(改定計画)目標対策量(㎡) 令和19年度末
白子川	152,000	222,000
石神井川	347,000	415,000
神田川	56,000	88,000
合計	555,000	725,000

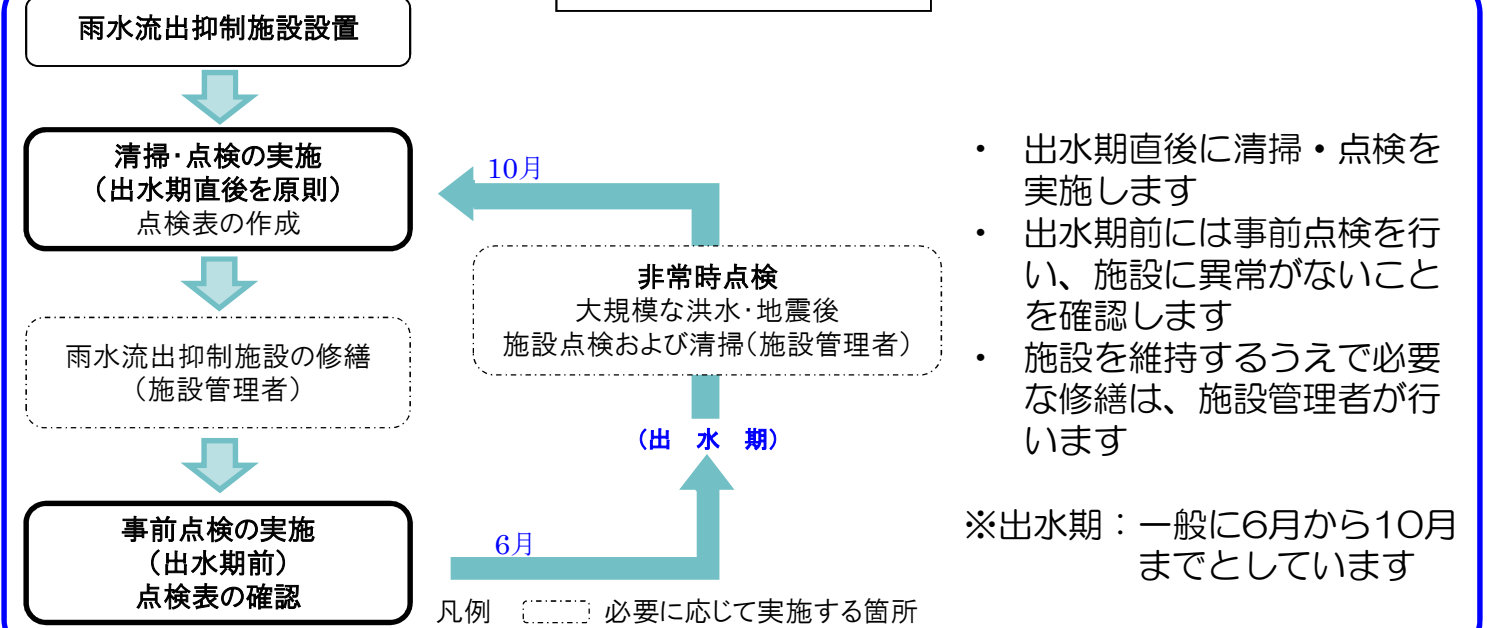
3) 維持管理の実施

雨水流出抑制施設の長寿命化促進

目標である時間10ミリ降雨相当の流域対策の効果を確実に発揮させるためには、雨水流出抑制施設の整備を推進していくとともに、その機能を適切に維持していくことが必要です。そこで、施設の機能維持や長寿命化を図るため、「**雨水流出抑制施設維持管理マニュアル**」を策定し、施設の維持管理を適切に実施していくこととします。



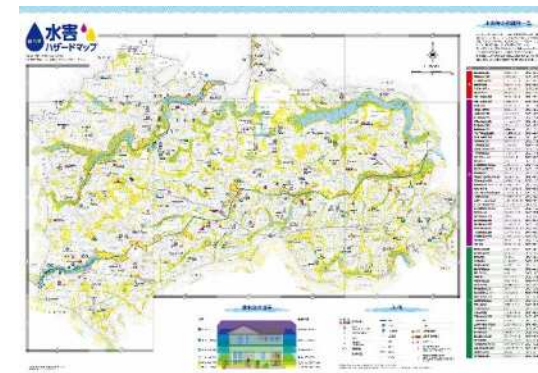
維持管理フロー



4) 確実な避難に向けた取組

確実な非難を促す取組

- 水害リスクや日頃の備えの事前周知
- 防災教育の推進・実践的な訓練の実施



改定した水害ハザードマップとあわせて防災の手引きを全戸配布



地域の皆様と協働で「地域別防災マップ」を作成
地域ごとの災害リスクに則した訓練を実施